

はじめの一歩	2
障害者のための事業案内	6
第10回女性問題全国都市会議 & イーブンライフin川越	10
年末年始の事業案内	12
表通り 裏通り よみがえれ! 文化財	22

●防犯チラシが折り込まれています。

都市景観シリーズ48・幸町のあさひ銀行



スマイルシティ・川越

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

まちへ、社会へ、可能性を求めて

はじめの一歩



11月21日、川越市福祉センター・オアシスで行われた「Wheeled Rugby」

障害を持つ人も、障害を持たない人といつしょに生活ができる、共に社会参加できる環境を整えることがノーマライゼーションの考え方です。その実現のために、建物の設備や構造といった物理的な面をはじめ、意識、制度など、さまざまな面で障壁（バリア）をなくす、バリアフリーが図られています。このような現況の中、みずから可能性を見つけ出し、目標を達成して、心豊かな生活を送るために、努力している障害者が増えています。

まちへ、社会へ、はじめの一歩を踏み出し、活動する障害者の姿を紹介します。

はじまりは、一通の手紙から

広がる障害者の競技スポーツ

平成十年に開催された長野パラリンピック。障害を持ちながらも、自己の肉体の限界に挑み、必死にゴールを目指す姿に多くの人が感動しました。これまで、障害者が行うスポーツは、リハビリテーションの延長という考え方が主流でした。しかし、障害者のためのスポーツ大会が国際的に開催されるようになってからは、スポーツは競技するもの、日常生活の中で楽しむものに意識

が変わつきました。

障害を持つ人も持たない人と同じようにスポーツと接することができるようになってきたわけです。障害者を対象とした競技や大会は、年々増加しています。スポーツの分野では、意識や制度の面でのバリアフリーが進んでいます。

車いすラグビー

佐野健一さん（26歳）は、川越市立博物館に勤務し、ウィルチエアーラグビー（Wheelchair Rugby）車いすラグビー）の埼玉

県代表として活動しています。佐野さんが車いすでの生活になることを、手さえ動かすことができない状態のときに聞かされたそうです。そして、リハビリを受け、ようやく手が動かせるようになった夜の出来事が佐野さんを大きく変えました。

「本当に大したことではないのですが、それまで動かせなかつた手で、両親に手紙を書けたことがすこく自信になりました。まさか自分の手で、もう一度、字が書けるようになるとは思つてもいなかつたですから。そのとき、やればできるんだと思いました」と自身の

経験を語ってくれました。

チャレンジすること

障害を持つことで、自信を失い、閉じこもりがちになってしまふという話を聞くことがあります。しかし、佐野さんのように、少しのきっかけが自分を大きく変えることになるかもしれません。

佐野さんの「はじめの一歩」は、自分の手で書いた両親への手紙でした。心を解き放ち、自分の可能性に向かってチャレンジすることでき、佐野さんは、新しい自分を発見していくのです。

生活を豊かにする楽しみとして

ユニークダンス

事故などが原因による障害を持つ人に比べ、子どものときから障害を持っている人は、身体機能に多くの制限を受けている場合があります。総合福祉センター・オアシスを利用している澤山和久さん（笠幡・47歳）も、小さいときから障害を持ち、車いすで生活をしています。

オアシスでは、高齢者や障害者を対象にした講座などを開催しています。その一つに障害者を対象にしたユニークダンスの教室がありました。

自分だけのステップでダンス

ユニークダンスは、車いすの障害者と健常者がいっしょに楽しめるダンスです。現在、澤山さんは、教室終了後に結成された「川越市ユニークダンスクラブ」の代表を務めています。

ダメだとあきらめないこと

障害者が外出をためらう理由の人も、松葉づえを使っている人も、障害のあるなしにかかわらず、踊りたいという気持さえあれば、だれでもできます。自分に合ったステップで踊ればいいんです。ユ

ニークダンスですか。気持を楽に、楽しく続けることができます

と澤山さん。



ユニークダンスの練習の様子

談笑する澤山さん



ユニークダンス仲間と
プレー中の激しい取り合い

ウィルチエアラグビー

身体障害者手帳所持者数	療育手帳所持者数
1級 1,987	(A) 232
2級 1,051	A 286
3級 1,032	B 352
4級 1,206	C 158
5級 384	合計 1,028
6級 327	
合計 5,987	平成11年3月31日現在 単位 人

身体障害者手帳所持者数は、公式種目に採用されることになります（日本は、競技体制が整っています）。現在、国内には、東京、埼玉、神奈川、大阪、新潟、大分、沖縄の七チームがあります。埼玉県チームの名称は「ジエネンス」。月に二回、総合福祉センター・オアシスで練習を行っています。

来年のシドニーパラリンピックからは、公式種目に採用されることになります（日本は、競技体制が整っています）。現在、国内には、東京、埼玉、神奈川、大阪、新潟、大分、沖縄の七チームがあります。埼玉県チームの名称は「ジエネンス」。月に二回、総合福祉センター・オアシスで練習を行っています。

川越市ユニークダンスクラブのことの四月に発足。ユニークダンス自体の歴史は古く、誕生は、二十年以上前。所沢市・狭山市・川口市などに、ユニークダンス研究会があり、ダンスパーティなどを開催し、交流を深めています。

川越市ユニークダンスクラブは、澤山さんをはじめ、副会長の石川俊夫さん、講師の先生方、ボランティアの皆さん、元気あふれるグループです。問い合わせ：川越ユニークダンスクラブ代表・澤山和久 33-8306

ようです。

「外出に不安がある人は、たくさんいると思います。一人で出かけるのが不安なら、一人で出かけばいいんです。ユニーカダンスには、同じ障害を持つた仲間がいますから、あきらめずに来てほしいです。私だけ、クラブの皆さん

は、外出に不安がある人は、たくさんいると思います。一人で出かけるのが不安なら、二人で出かけばいいんです。ユニーカダンスには、同じ障害を持つた仲間がいますから、あきらめずに来てほしいです。私だけ、クラブの皆さん

がいるから、こうやつて参加し、代表を務め、楽しむことができるんです。皆さんあつての私なんですよ」と、澤山さんは話します。

続けることで、何かが見えてくる

アルファ・アート

障害者の中には、自分の持つ力を使ふことで、目標を持った生活を送っている人がいます。オアシスで活動する知的障害者のグループ、アルファ・アートには、魅力あふれる個性を持つた人たちが集まっています。

アルファ・アートの活動は、必ず親子で参加することになつています。理由は「親子でいつしょに楽しみながら、子どもの可能性を見つけ、豊かな生活を送れるようになります」といつしょに喜裕さんが絵を描くようになつたからです。

障害のあるなしに関係なく

岩崎さんも息子の喜裕さん（22歳）といつしょに参加しています。

喜裕さんが絵を描くようになつたからです。

のは、岩崎さんが「障害を見つめ、本人にどのような力があるのかを知りたい」「大人になつてから、仕事と生活だけではなく、何か趣味を持つことで心豊かな生活を送れるようになつてほしい」と思ふ、絵をはじめ、いろいろな経験をさせたことがきっかけでした。「習いごとをさせるのは、どこの家庭でもいつしょです。障害のあるなしに関係ないと想います」と岩崎さんは言います。

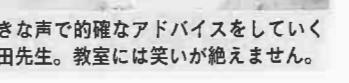
岩崎さんは、「障害のあるなしに関係ない」と思つてます」と話してくれました。

未知の力は生活の中に

県立養護学校高等部二年の三沢寛幸さん（中原町一丁目）は、割りばしで作ったペンに墨を付け、日常生活的な出来事をつづった詩



アルファ・アートの会員が書いた字をデザインに、再現し、商品化されました。



大きな声でのアドバイスをしていく粟田先生。教室には笑いが絶えません。

総合福祉センター・オアシス

「オアシス」は、オーリー老いも若きも、アリ足腰きだえ、シリしつかり健康、スマイルで、を意味します。

11月26日に高階南公民館で開かれた「第14回ユニーカダンスの集い」（川越市身体障害者福祉連合会青年部主催）



所沢市で行われたユニーカダンスパーティーでの模範演技

アルファ・アート

平成九年の五月に発足。障害を持つアシスで活動。現在、会員は、小学生から二十二歳までの十二人。広報川越に掲載中の「フェルトペントンアート」の

作者・岩崎喜裕さんも会員の一人。先に、長年取り組み、海外とも交流があり、複数のアーティストが、地域社会に貢献しています。

十時、正午に、総合福祉センター・オアシスで活動。現在、会員は、小学生から二十二歳までの十二人。広報川越に掲載中の「フェルトペントンアート」の

作者・岩崎喜裕さんも会員の一人。先に、長年取り組み、海外とも交流があり、複数のアーティストが、地域社会に貢献しています。

5

小さな一步から、新しい自分探し

バリアフリーが進むスポーツ界

国際スポーツの舞台におけるバリアフリーの影響を受け、国内で変化が生まれています。今まで別々に行われてきた「全国身体障害者スポーツ大会」と知的障害を予定されています。今後は、重度障害や重複障害を持つ人たちの参加も考え、障害者全体のスポーツとしての体制づくりが望まれます。そして、障害者が一般的のスポーツ競技に、健常者といつしょに参加していくことで、より一層のバリアフリーが図られていくのではないでしょうか。

必ず方法が見つかるはず

わずかな段差でも、障害を持つ人には、大きな壁になります。しかし、市内の道路や施設には、バリアフリーが十分に行き届いています。でも「だめだ」とあきらめないでください。必ず方法があるはずです。それは、同じ障害を持つ人と交流すること

は比べないように、いつしょに樂しみながら、長く続けていけばと思つてます」と話してくれました。

た。

本人の秘めた力を導き出すには、いろいろな体験と継続が必要で、解消できるかも知れません。

た。

また、健常者が障害者とともに考え、相談し合い、心のバリアフリーを進めることで、取り除くことができる」とがちも知れません。

チャンスは意外な場所に

知的障害を持つ人が自立を目指すのは、とてもたいへんなことです。でも、頑張つて続けていると、意外とチャンスがあつたりします」と岩崎さんは言います。それは、障害者というハンディキャップがプラスの効果を生み、充実した環境を整えることができるということなのかもしれません。「できないと思わないで挑戦すること。ダメでもともと。お互の可能性を高め、成長できるだけでもいいんですね」と岩崎さんは話します。

中国では、知的障害者のための自立教育を「培智教育」と呼び、多くの体験教育を実施しています。日本の「養護」「擁護」といったことばとは、明らかに違います。知識を培い、本人の力を見つけて出します。そこには、多くの体験がきっかけになっています。

はじめの一歩には、多くの勇気と決断が必要です。でも、その次の一步には、たくさんの可能性があります。しかし、発想を転換して、趣味を増やしたり、交流を深めたりすることは、今までと違った何かを見つける一つの方法になるのではないかでしょうか。

まちへ、社会へ、可能性を求めて、新しい「はじめの一歩」を踏み出してください。

会員全員で「たつのおとしご」を描いて作成した来年のカレンダー。



割りばしで作ったペンで書く三沢さんの字は個性あふれる書体



水泳も得意の岩崎さん。10月に行われた「ゆうあいピック」では、50メートルバタフライで大会新を出し、金メダルを獲得。

「完全参加と平等」の実現に向け

障害を持つ人も持たない人も、共に生きがいを持つ生活ができる社会を目指すノーマライゼーションの理念の下、「完全参加と平等」の実現に向けて、努力しております。

平成八年に策定いたしました「川越市障害者福祉長期計画」は、その指針となるものであります。

近年、重度障害者の増加、精神障害者や難病者への対応など、障害者を取り巻く状況は変化しております。

このような新しい課題に対応するために、現在「川越市障害者計画」の策定に向け、検討を進めております。

ことし四月には、障害者も含めた保健・医療サービスの充実を図るために、総合保健センター（小谷）がオーブンいたしました。十月からは、「障害者生活支援センター」ともいき（的場）で、身体障害者等を対象とした相談事業を開始いたしました。また、一月からは、医療機関や学校関係行事など、日常生活における手話通訳者の派遣について、時間延長等、内容を充実させてまいります。

市では、今後ともさらに福祉施策の充実してまいります。

川越市長 舟橋功一



川越市長 舟橋功一

総合福祉センター・オアシス

「オアシス」は、オーリー老いも若きも、アリ足腰きだえ、シリしつかり健康、スマイルで、を意味します。

一階には、障害者デイサービス室、二十五メートル×六コースの温水プールなどがあります。二階には、機能回復訓練室や日常生活訓練室。車いす寝つきの方のための浴室や体育室などがあります。三階には、川越市社会福利協議会のほか、ヘルパー室、ボランティア室、交流室、娯楽室、研修室などがあります。

六十歳以上の高齢者または障害者apo

料による「利用登録証」を発行していま

ます。（利用登録申請の際には、身体障害者手帳・福寿手帳を持参）

オアシスでは、いろいろな教室や講座も開催しています。また、市民グループの活動も活発です。

問い合わせ…総合福祉センター・オアシス 28-0200・fax 28-0202



Duet

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を紹介する「一欄」です

獅子舞に込められた願い

平成11年10月10日 (No.968)

地域に根ざした伝統芸能。それは自然への祈り、地域・世代の交流、ときにはほかの地域と競うものだったかもしれません。獅子舞が果たしてきた役割がほかのものに移り、その存在が忘れ去られようとするとき、新しいものでは代わることができないものまでなくしてしまいます。私たちにとってテレビ、ゲーム、インターネットなどは交流する要素を持つのですが、それらには生まれたところ、育ったところ、住んでいるところの実感が希薄になります。人と直接的なつながりがあり、自分の姿が確認できる環境。それは、私たちが暮らすうえで大切なものに感じられます。



広報川越No.968 2・3ページ

環境にやさしい暮らし方
オゾン層を破壊するフロンの回収が進められているようですが、川越市でも行われているのでしょうか。また、対象は、冷蔵庫やエアコンのみなのでしょうか。我が家にはフロンガスの使われているスプレーがかなりあつたので「どうしよう」と思いながらも、そのまま使用せずにとつてあります。

「ゴミ問題」の記事、興味深く読ませていただきました。私もなるべくゴミを減らすようにリサイクルに力を入れています。特に牛乳パックや古紙(空箱、トイレットペーパーの芯など)は必ずリサイクルに回しています。しかし、ほかの方はどうでしょうか? ゴミの集積所に積まれている袋の中には牛乳パック、段ボールなどが無造作に捨てられているのをよく見かけます。なぜ協力できないのでしょうか。牛乳パックは、洗って乾燥して切り開くと手間がかかります。でも大切な資源です。もつともつと市民の方に呼びかけていただけないでしようか。また、

近隣に対する配慮から焼却行為の自粛についてお知らせしてきました。今回の記事では、本来「自粛」とするところを誤つて「禁止」になつてゐるため、おわびして訂正します。また、根拠としては、埼玉県公害防止条例第九十二条に焼却の禁止等として「規制で定める焼却施設を用いずに廃棄物その他の物質を焼却しないように務めなければならぬ」となつてしまふ。ご協力をお願いします。

市長への提案から

No.63



川越市長
舟橋功一

西暦2000年の成人式から記念ビデオを贈呈します

市民目安箱でいただいたご意見を紹介します。

[提案要旨]

成人式の現在の記念品はテレホンカードですが、今後、思い出に残るものに変えたらどうでしょうか。

[お答え]

成人式は、どなたにとっても一生に一度の記念すべき日であろうと思います。この日の大切な思い出となるよう、市では以前からさまざまな記念品を贈呈してきました。平成2年の成人式からは、時代を反映してテレホンカードを記念品としてきました。しかし、現在では、携帯電話などの普及により、テレホンカードを使用する機会が減少してきたように思います。また、来年の成人式は、西暦2000年という大きな節目の年でもあり、ほんとうに記念となるようなものを差し上げたいと考え、ビデオテープを贈呈することとしました。

内容は、成人の皆さんのが生れた年の社会の出来事、川越市の現在の様子や四季折々の風景、小江戸川越を代表する蔵造りの町並み、同世代の若者のボランティア活動などの紹介となっており、生涯の思い出になるまことに成人式の記念品にふさわしいものと思います。ご家族や友人とご覧いただけでなく、市外の方に川越を紹介する際にもご活用ください。

これからのまちづくりには、すべての市民の参加が求められています。成人の皆さんには、自分の個性にあった生き方を考えるとともに、ふるさと川越にさらに関心を持っていただくことを期待しています。

*記念ビデオに関して詳しくは、生涯学習課社会教育係(内線2842)にお尋ねください。

さんばく'99

十一月十三日・十四日に川越運動公園で第十二回川越産業博覧会が開かれました。今回は、TANSA産業活性化協議会が主催のテクノロジーフェアも同時開催。二日間で十万人が訪れた会場には、市内の各業種の展示のほか、省エネ・新エネコーナー、フリーマーケット、姉妹都市コーナーなどが設けられ、秋晴れにも恵まれ、とてもぎやかでした。



オープニングのテープカット



はしご車に乗って「空中散歩」



来場者でいっぱいの展示会場

川越市場まつり

旬の大盛りに大勢が集まつた十一月二十三日の埼玉川越総合卸売市場。マグロの解体では、見る見る切り分けられる大きな体、その場で切り身を食べる光景もありました。模擬セリでは破格の果物にたくさんの手が上がり、活気いっぱい。ゴーゴーファイブショード、夢中の子どもたちから新鮮な買い物が目当ての大人数まで、みんなで楽しめた一日でした。



観客の目は大きなマグロに注がれる



バナナのたたき売りは大人気



ショーの会場には子どもの歓声



獅子舞に込められた願い

広報川越No.968 2・3ページ

環境にやさしい暮らし方
オゾン層を破壊するフロンの回収が進められているようですが、川越市でも行われているのでしょうか。また、対象は、冷蔵庫やエアコンのみなのでしょうか。我が家にはフロンガスの使われているスプレーがかなりあつたので「どうしよう」と思いながらも、そのまま使用せずにとつてあります。

「ゴミ問題」の記事、興味深く読ませていただきました。私もなるべくゴミを減らすようにリサイクルに力を入れています。特に牛乳パックや古紙(空箱、トイレットペーパーの芯など)は必ずリサイクルに回しています。しかし、ほかの方はどうでしょうか? ゴミの集積所に積まれている袋の中には牛乳パック、段ボールなどが無造作に捨てられているのをよく見かけます。なぜ協力できないのでしょうか。牛乳パックは、洗って乾燥して切り開くと手間がかかりります。でも大切な資源です。もつともつと市民の方に呼びかけていただけないでしようか。また、

近隣に対する配慮から焼却行為の自粛についてお知らせしてきました。今回の記事では、本来「自粛」とするところを誤つて「禁止」になつてゐるため、おわびして訂正します。また、根拠としては、埼玉県公害防止条例第九十二条に焼却の禁止等として「規制で定める焼却施設を用いずに廃棄物その他の物質を焼却しないように務めなければならない」となつてしまふ。ご協力をお願いします。

費者は、環境に配慮する会社・製品を選ぶことが環境への貢献につながると感じました。
市民が力を合わせて
「ゴミ問題」の記事、興味深く読ませていただきました。私もなるべくゴミを減らすようにリサイクルに力を入れています。特に牛乳パックや古紙(空箱、トイレットペーパーの芯など)は必ずリサイクルに回しています。しかし、ほかの方はどうでしょうか? ゴミの集積所に積まれている袋の中には牛乳パック、段ボールなどが無造作に捨てられているのをよく見かけます。なぜ協力できないのでしょうか。牛乳パックは、洗って乾燥して切り開くと手間がかかりります。でも大切な資源です。もつともつと市民の方に呼びかけていただけないでしようか。また、

近隣に対する配慮から焼却行為の自粛についてお知らせしてきました。今回の記事では、本来「自粛」とするところを誤つて「禁止」になつてゐるため、おわびして訂正します。また、根拠としては、埼玉県公害防止条例第九十二条に焼却の禁止等として「規制で定める焼却施設を用いずに廃棄物その他の物質を焼却しないように務めなければならない」となつてしまふ。ご協力をお願いします。

翔びたとわわたし彩の翼を広げて

人口三十万人以上の都市が集まつて年に一度開かれている「女性問題全国都市会議」と、川越市で市民が実行委員会を組織し実施している「イーブンライフin川越」。十一月十一日、市民会館で、この二つが同時に開催され、市民や各都市の担当者など、約千二百人が参加しました。

*記事は当日の発表等を基に広報室でまとめたものです。

第10回女性問題全国都市会議&イーブンライフin川越

市民のつどい



さあ前へ！描いてみよう夢と音楽

市民参加の歌や音楽で、会場はリラックスした雰囲気。「子を産み、育てることが誇れるように」「日本にも家庭内暴力があることを知つてほしい。そして法制定に働きかけていこう」「戦争や環境問題といった課題の解決に向けて、21世紀をよりよい時代に」「すべての根幹は家庭にあると思う。まずはそこから改革を」など、数々の熱いメッセージが語られ、大きな拍手が沸いていました。



あいさつ



舟橋功一川越市長

ことしは、男

女雇用機会均等

法が改正、さら

に六月には男女

共同参画社会基

本法が施行さ

れ、新たな取り

組みが始まつた記念すべき年で

す。この会議が本市で行われます

ことは、時期を得た、たいへん意

義のあることと考えております。

現在、本市におきましても、女

性政策の新たな課題に対応し、実

効性のある「第二次川越市女性計

画」を策定するため、懇話会を設

置し、提言に向け協議をしてい

だいております。

また、今回の会議は、市民実行

委員会による「イーブンライフ

in川越」を同時開催とし、多く

の市民の皆さんにも参加してい

ただきました。この会が実り多いも

のとなりますが、心から期待い

いたします。

この基本法は、男女が対等なパートナーとして参画していくことを目指しています。憲法ですべて平等、人権尊重はうたわれていますが、さらに自分の生き方を選択できる社会、それが男女共同参画社会です。近年の社会経済情勢の変化はたいへん激しいものとなつていて、画一的・均一的な考え方ではなく、多様な生き方を認め、いる女性もかかわっていかなくては解决しません。

す。管理職や政治家に女性が少ないことでもあります。環境問題や人口問題は、世界の半分を占めている女性もかかわっていかなくては解决しません。

講演

地球市民として生きる



異文化コミュニケーション
マリ・クリスティーネさん

私は日本で生まれ、その後、四か国に住み、日本に戻つてきました。父がイタリア系アメリカ人、母が日本人です、異文化の中で育つてるので、どこの国的一部分も自分の中にある気がします。

以前、娘を褒めるときに、「おっぱい大きくなつたね」と言つた人が、なぜそうは言えないのでしょうか？ 言われたほうは、傷つきます。自分自身を大切に思ふるかどうかは、家庭にかかっています。日本の夫は、「妻には働いてほしくない」のですが、「娘にはいい就職をして、社会で活躍してもらいたい」と思つて、つまり女性には二つのメッセージが送られるわけです。男女平等とは、自分が選択肢が少なく、逆の意思や役割を選べることです。日本では選択肢が少なく、逆に男性も役割を選べない状況です。

世界には、女性に対する差別がたくさんあります。日本は恵まれた方ですが、満足せずに問題を取り直してほしいです。女性問題は、社会すべての問題なのです。

住民と行政とのパートナーシップによるまちづくりについて

よりよい地域社会を築くために大きな役割を果たすのが、住民、特に地域の担い手である女性団体。団体や行政としてどのように取り組み、活動を活発化するか、事例を交えて話し合いました。

女性と国際理解・協力について

女性の立場、視点に立ち、どのように国際理解や協力を推進していけばよいか意見交換が行われ、「21世紀はボランティアと共生の時代。女性だからできることを考えることを確認しました。

職員の意識改革について

市民生活に直接かかわる行政職員としての意識改革について話し合い、「男女共同参画の視点でジェンダーをすべてなくし、男女同じ状況の中で仕事をしていくことが重要である」と結びました。

女性行動計画の策（改）定および進行管理について

女性行動計画も、各市において見直しの時期がきています。地域性を生かし、市民の参画による計画を策定するにはどうしたらよいかを中心に、活発に話し合いが行われました。

男女共同参画社会基本法の機能と役割について

男女共同参画社会基本法の果たす役割や機能、自治体が目指すべき方向性などについて、コーディネーターの中央大学教授・植野妙実子さんや各パネリストが熱く語りました。

分科会

ワークショップ



市内の女性団体などが自分たちの活動をパネルで紹介したり、集まった人で話し合いをしたりなど、活発な交流が図られました。休憩時間にも時間を惜しんでたくさんの人が訪れました。

全体会

11月12日には全体会が行われ、各分科会で討議された内容が発表されました。また、まとめとして植野妙実子さんの講演がありました。

第二次世界大戦後、高い教育をだれもが受けることができるようになり、みんなが男女平等という意識を持つようになりましたが、実質的にはそうではありませんでした。そこで、一九七五年が国連が提唱する国際婦人年と定められ、世界でこの問題に取り組んでいくことになりました。また、一九九五年には北京で第四回世界女性会議が開かれました。女性問題は、男性も考えていかなければなりません。日本は、先進国の中では特に、女性が物事を決める場面にかかわっている割合が低い状況で

「男性が仕事、女性が家庭」という固定的な考え方は、まだ存在します。日本は、先進国の中では特に、女性が物事を決める場面にかかわっている割合が低い状況で



男女共同参画社会
基本法が拓く新しい社会

内閣総理大臣房
男女共同参画室長
おおにしたまえ
大西珠枝さん

この基本法は、男女が対等なパートナーとして参画していくことを目指しています。憲法ですべて平等、人権尊重はうたわれていますが、さらに自分の生き方を選択できる社会、それが男女共同参画社会です。近年の社会経済情勢の変化はたいへん激しいものとなつていて、画一的・均一的な考え方ではなく、多様な生き方を認め、いる女性もかかわっていかなくては解决しません。

す。管理職や政治家に女性が少ないと、ことでもわかります。環境問題や人口問題は、世界の半分を占めている女性もかかわっていかなくては解决しません。

第10回女性問題全国都市会議&イーブンライフin川越

地球環境保全のための自然エネルギー

風と森と雪のシンフォニー

ケナフで作られた宣言書



自然エネルギーの普及に向け、自治体と住民の役割を考える「秋田自然エネルギー自治体サミット・風と森と雪のシンフォニー」が十一月二十日、秋田市で開かれました。サミットには、自然エネルギーの導入に積極的な全国二十八自治体から、およそ二百八十人が参加。舟橋功一市長は、パネリストとして川越市の事例を発表しました。

基調講演

「地球温暖化に果たす自然エネルギーの役割」をテーマに省エネエネルギー・新エネルギー普及協議会会長を務める一橋大学の栗原史郎教授が講演。自然エネルギーの普及には、コスト高に伴う経済性の壁があるが、これを破るために市⺠の役割が重大である」と指摘しました。

その後、北海道苫前町の久保田徳満町長、新潟県安塚町の矢野学町長、島根大学の小池浩一助教授がそれぞれ、風力、雪、木質バイオマスにおける取り組み事例を紹介しました。貯蔵した雪を使っての冷房、雪にちなんだ文化や社会活動の表彰制度など、エネルギー源として雪を活用することにとどまらず、マイナスイメージを持つ雪を逆利用し、まちづくりにまで発展させた安塚町の地域の特色を生かした取り組みが印象的でした。

パネルディスカッション

「自然エネルギーを普及させるには何が必要か」をテーマに発表が行われました。

国会内の超党派の自然エネルギー促進普及連盟の発足、各市町村の代表がそれぞれの取り組みと課題を述べました。

舟橋市長は、「1パーセント節電プラス1（ワン）運動と太陽光発電システムへの補助制度」を中心川越市の環境政策を発表しました。

自然エネルギー自治体サミットでは、「地球温暖化防止とともに自治体間の連携を図ることが必要」「地域ができるところから取り組んでいく、その積み重ねが国を動かしていく」「住民参加が何よりの力になる」などの意見が出されました。

クリーンエネルギー宣言

最後に座長を務める石川鍊治郎秋田市長が、地域ごとの自然エネルギー資源の活用、地域住民とともに地球温暖化防止への取り組みを積極的に進めを働きかけるなどの内容からなる「秋田クリーンエネルギー宣言」を読み上げ、会場からの拍手によって採択されました。

化防止に

秋田クリーンエネルギー宣言

良好的な環境は人命存続の基礎であり、人の活動は環境と調和するように行われなければなりません。私たちは、このままの状態がつづくことは、必ずや問題となることを心配します。
そこで、私たちには健やかで文化的な生活を営むために、その行動を改めなくてはなりません。しかし、われわれが豈ぶべきを実現するには、自然エネルギーの普及が不可欠です。
そのため、私たちには文化的な生活を営むため、組合員がエネルギーを必要とする、このため、環境への負担の少ないエネルギーを採用する必要があります。無理な限りでクリーンエネルギーの普及を図ることです。
私たちが目は、エネルギーを生み出す風、森、川、大河など、自然が提供してくれる資源です。
われわれは、困ることなく、地域の資源をエネルギー資源として活用していくべきです。これで、ひいては田舎をもたらす...田舎を活性化させる新しい仕事を手始めると考えます。
私たちがおもに自然の一部ですが、自然を持つ一部です。
新たな手紙を書きまとめており、次のとおり発表をめざすが、クリーンエネルギーの問題をここに宣言します。

1. 環境に優しいエネルギーの選択と、それが持つ社会的意義。
2. 地域活性化とエネルギーの選択。
3. 地域活性化とエネルギーの選択。

平成11年1月20日
秋田自然エネルギー自治体サミット幹事長

地域づくり全国交流会議 佐世保大会 ひとがひとを創り、ひとがまちを創る

さまざまな地域づくり活動を実践している地域の人々およびそれを支援している行政が情報交換を行い、地域づくりの推進に役立てる「地域づくり全国交流会議 佐世保大会」が11月18日・19日に開催されました。国、県、市町村、民間団体の211団体に市民を加え、全国から集まった1,025人の参加者が「ひとがひとを創り、ひとがまちを創る」をテーマに地域づくりの課題、特色ある活動などについて考えました。舟橋功一市長は「地域づくり東日本交流会議・川越大会」(10月7日・8日)の様子と川越市のまちづくりを報告しました。

地方大会報告 (川越大会・伊勢大会)

地域づくり東日本交流会議川越大会の報告では舟橋市長が、川越の町並み景観と伝統的建造物群保存地区の決定、環境保全への取り組みとISO14001の取得を紹介し、「まちが暮らしを創り、暮らしを育む」をテーマにして行われた川越大会の経過と住民主体のまちづくりをアピールしました。

地域づくり西日本交流会議伊勢大会の報告では、水谷光男伊勢市長が、「地域ルネッサンス」をテーマにして行われ、まち・ひと・文化の見直しを呼びかけた内容を述べました。「商売はもうけではなく、買う人の満足度」ということばに表されたもてなしの考えが、地域づくりに生かされているように感じました。



基調講演 (ミレニアムな環境未来都市)

ハウステンボス株式会社代表取締役社長の神近義邦さんは、産業・科学が発達するにつれ、手に入れた便利さによって本来の姿を壊してしまった人間がオランダの知恵と哲学によって自然環境と人間社会の調和を図ることを具現化したハウステンボスについて説明しました。水を生かして自然の生態系を利用したエコロジカルな環境を保存し、育てる思いやりが、この施設を1,000年後も地球にやさしいものであり続けることが語られました。

地域づくり表彰 (アイディアと実践と成果)

全国各地の地域づくり活動から受賞候補の洞爺村国際彫刻ビエンナーレ実施委員会の企画50人委員会（北海道洞爺村）、いなみ国際木彫刻キャンプ実行委員会（富山県井波町）、加美町（兵庫県加美町）、とってもゆかいな秋吉台ミーティング（山口県秋芳町）、させぼ塾（長崎県佐世保市）、藤沢野焼祭実行委員会（岩手県藤沢村）、美山窯元祭り実行委員会（鹿児島県東市来町）、壺屋やちむん踊り会（沖縄県那覇市）が紹介され、国土府長官賞ほかが表彰団体に贈られました。あわせて地域づくりアイディアコンペ表彰が行われ、農村景観の創造、人と人が交流する時間銀行の各アイディアが受賞しました。

ハウステンボス(佐世保市)は、共同溝・淡水化プラント・下水処理・熱供給システム・コジェネレーションシステムなどのテクノロジーを駆使したバックアップシステム、石積み・レンガ舗装・土壤改良・環境照明などの環境保護施工によって自然との共生を図る環境未来都市となっています。

©ハウステンボス/J-4139

分科会 (ともに考え、ともに生き、ともに楽しみ、力を合わせるまちづくり)

イベントによるまちづくり、バリアフリーのまちづくり、官民パートナーシップによるまちづくり、歴史的建造物を活かしたまちづくり、地域連携とまちづくり、まちづくりにおけるプロデュースの各テーマごとに第1～第6分科会に分かれて行われました。

参加した第1分科会では「YOSAKOIソーラン祭り」など、3つの市民祭りの講演があり、いずれも「祭りは参加者が楽しめなければだめ」ということが共通した考え方でした。こうした祭りの意識は「川越まつり」「小江戸川越春まつり」「川越百万灯夏まつり」などを持ち、観光に訪れる人をもてなす川越市にとって参考になるものでした。

地域づくり佐世保大会宣言 (ひとが、ひとを創り、まちを創る)

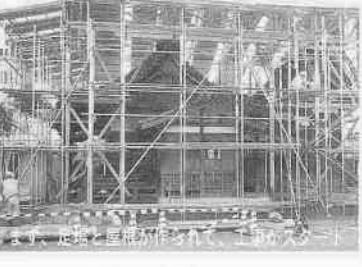
佐世保大会は「地域づくり佐世保大会宣言」を採択。これは、まちづくりの中心に「ひと」を位置づけ、ひとりひとりの幸せのため、地域の歴史・文化・自然を生かし、個性豊かで自立した1,000年の地域づくりを望むものでした。

よみがえれ!

文化財

ことし、八月二十一日に起工式が行われ、広済寺（喜多町）境内にある金毘羅堂の解体修理が始まりました。取材した十一月二十四日の時点では、屋根がわらを外す作業が行われていました。この工事の完成は平成十四年（2002年）三月末の予定です。

この金毘羅堂は、平成七年に市の文化財として指定されたもの。ほかにも、天狗や「じやぶきばあ」の伝説で有名な広済寺。文化財の



「どっこい喜多町広済寺」といふことで知られる広済寺は、室町時代の天文十八年（1489年）に当川越城代であつた大導寺政繁が建立しました。



11月29日に行われた広游寺金毘羅堂修理見学会。約100人が参加

なり金毘羅堂を建立しました。しかし、この建物は文化十三年（1816年）に焼失しました。そして、八一六に焼失しました。その後、数回にわたって改装がなされ、現在の社殿となっています。

この建物は、江戸期の神仏混淆を示す貴重な遺構であり、内部にある仏具等とあわせて、当時の町人たちの活発な信仰形態を伝えています。

まちのできごと 109パレット

川越市の面積は109.16km²

みんなの努力が評価されました

10月22日、浦和市で第8回ごみ減量化推進全国大会が開催され、鷺井中学校が表彰を受けました。生徒が人間川河川敷清掃活動やアルミ缶回収活動を定期的に行っていること、学校が環境教育の推進を重点的に行っていることなど、学校全体で積極的にごみ減量化や環境美化に取り組んでいることが高く評価されました。



晩秋の花火大会

11月6日、いも子作業所（笠幡）をメイン会場に「ふれあい小畔川花火大会」が開催されました。地元自治会と育成会が中心となり、地域の皆さん協力により、ことし初めて実施されたものです。甘酒の無料サービスなどもあり、肌寒い中多くの人が訪れ、にぎわいました。地域住民の交流が図られた秋の夜でした。

快晴の空の下で楽しみました

11月8日、第5回川越市民ゴルフ大会が霞ヶ関カントリー倶楽部で開催されました。半そででも汗ばむほどの陽気の中、男女合わせて281人が参加。ゴルファーの皆さん、ことし6月に日本女子オープンゴルフ選手権が開催されたあこがれのコースに立って、少し緊張気味。でも、和やかにプレーを楽しんでいました。



広場に葉ボタンのデコレーション

ことし8月1日から市民の皆さんに開放した川越駅西口市有地暫定自由広場。11月8日、この広場の美化のために、川越総合高校生徒が、育てた葉ボタン1,200本を周辺に住む皆さんといっしょに植えました。「町がきれいになります。通勤や通学でこの広場の周辺を歩く人も気持ちがいいのでは」と参加者の声。



楽しく描いたら受賞しました

「第18回全国児童画コンクール」で芳野小学校4年の上野成美さん（北田島）が応募総数160,424点の中から、最高賞の文部大臣奨励賞に決まりました。1歳のとき、かにの絵を描いて以来、絵や工作が大好きな成美さん。受賞作「ひみつの場所」は、下書きをしないでイメージを膨らませ、1日で描いたそうです。



「中国山地教育支援」の旅

小野浩（60歳・かわつる三芳野）

私の初めての海外旅行は、ことしの夏休みに「中国山地教育支援」の旅に同行することによって実現しました。北京から北東に150キロメートル離れた山地の小学校や中学校を訪ね、学校や寄宿舎を建てるための資金の支援を行い、小学校では交流授業を行いました。学校の施設や地域の様子は大変に貧しく、私が50余年前（終戦直後）に育ち学んだ、郷里（三重県）の小学校の分校生活や人々の生活を思い出せるものでした。

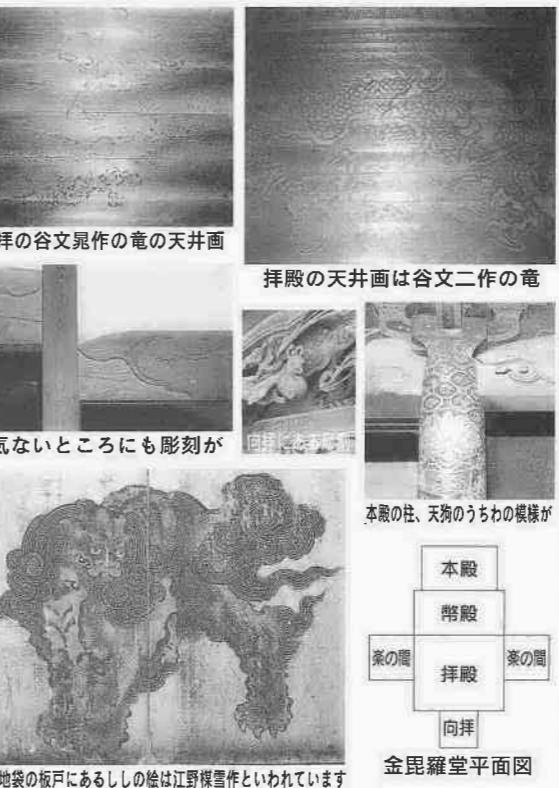
交流授業では、日本の小学校で不要になった鍵盤ハーモニカや算数セットを贈り、それを使って日本の先生が授業を行いました。授業を受ける子供たちのキラキラ輝いた目や活発に興味を示す態度は、やはり私の小学校時代と同じだと感じさせました。

欲しいものは何でも手に入るように、恵まれ過ぎている今の日本の子供たちや保護者の方々にこの現実を伝え、みんなで一層の支援を行っていく必要があるのではないかと感じた貴重な旅でした。

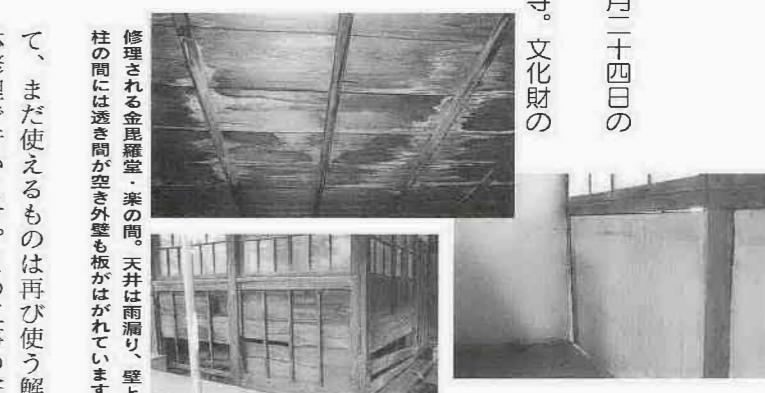
イラストコーナー



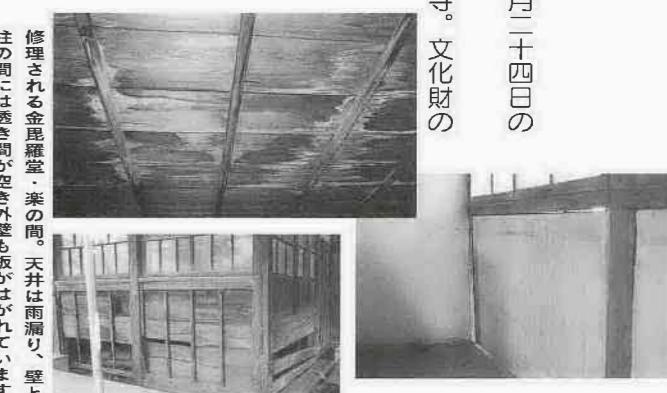
齊藤由夏（15歳・広栄町）



本殿地袋の板戸にあるしのの絵は江野桜雪作といわれています



修理される金毘羅堂・樂の間。天井は雨漏り、壁と柱の間に透き間があり、外壁も板がはがれています。至るところにある絵や彫刻が、まるで美術館のような金毘羅堂。まだ工事は始まつたばかりです。これから、解体していく途中で新たな発見もありそうです。そして、完成した暁に、なるべく多くの皆さんに見てもらい、地区に住む皆さんに役立ててもらうための方法については、すでに検討を始めています。



フェルトペーパート

クリスマス

文 フェルトペーパー

岩崎喜裕
岩崎美喜代

21



幼いころ、あなたは自分で作った紙の靴下に、
履いていた靴下の柄を描きました。
翌朝、まくら元にあつたのは
靴下に入りきれないほどの大さきの、大好きな野球グーム。
いつも無表情なあなたの目が、輝いていました。
今、私はさまざまな体験と出会いを、
あなたからもらっています。
二〇〇〇年はどんな出会いが
待っているのでしょうか。



コンピュータが誤作動を起こすおそれがあるといわれる、いわゆる2000年問題。本市では川越市コンピュータ西暦2000年問題対策本部を設けています。日付が変わる大みそかから元旦にかけては非常事態に備え、市では情報収集・伝達班、関係機関連絡班、広報班等の各班に属する職員約70人が待機して対応します▶早いものでこちしもあとわずか。年末の慌ただしさの中で交通事故が増えることも考えられます。また、年末年始は飲酒の機会が多い月。飲酒運転は絶対にやめましょう。交通ルールを守り、家族そろって20世紀最後の年、西暦2000年を迎えるですね。

表紙地図



広報川越 972

- 発行/平成11年12月10日(毎月10日・25日発行)
- 発行人/川越市長 舟橋功一
- 編集/川越市広報室 〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3-1 ☎0492-24-8811内線3522
- 印刷/有新広社

広報川越は古紙100%再生紙を使用しています 